

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 CDG

コード番号 2487 URL <http://www.cdg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 勝典

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長

(氏名) 曾我部 憲昭

TEL 06-6282-0662

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,236	27.2	815	127.7	823	119.4	485	138.0
23年3月期第3四半期	6,474	10.6	358	5.7	375	3.9	204	47.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 487百万円 (149.2%) 23年3月期第3四半期 195百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	247.87	—
23年3月期第3四半期	102.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,430	3,210	59.1
23年3月期	5,103	2,787	54.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,210百万円 23年3月期 2,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	13.5	700	48.4	700	41.8	420	58.1	214.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	2,080,000 株	23年3月期	2,080,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	110,128 株	23年3月期	118,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	1,959,224 株	23年3月期3Q	1,988,561 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
【生産、受注及び販売の状況】	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災やタイでの大規模洪水などの影響により一時的に企業の生産活動が停滞するとともに、円相場の高止まりを受け、輸出企業の採算が大幅に悪化いたしました。加えて、欧州各国の債務問題や米国経済の回復の遅れも懸念され、我が国の景気の先行きは不透明感が増す状況が続いております。

このような経済環境の中、一部において販売促進活動に慎重姿勢もあり、企業によってバラツキがありますが、生産体制が徐々に回復してくるとともに、個人消費についても一部持ち直しが見えてくるにつれて、販売促進活動も通常に戻ってまいりました。

そのような環境のもと、当社グループでは主力であるノベルティグッズの供給にとどまらず、顧客が抱える営業課題解決に向けたソリューション型の提案営業を強化し、キャラクターや各種コンテンツ等との連動、企業間タイアップの実現、店頭施策提案の充実など、顧客対応力を高めるためのサービス供給機能を向上させることに注力いたしました。あわせて調達先であるサプライヤー各社との関係強化を推進することで、商品調達力と品質管理体制を高めることに取り組み、市場ニーズを的確に捉えたグッズ提案と安全な商品供給を両立させることで、顧客満足度を向上させることにも努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、当社グループの主要顧客である飲料業界向けにおいて複数の大型案件を受注したことから大幅に伸びたことに加え、同じく主要顧客である製菓業界向けの案件獲得が引続き堅調であったことから好調に推移しました。更に、当社グループの豊富な顧客群に対し、組織的対応による顧客深耕を強力に推進した結果、外食業界並びに通信業界向けの深耕が進み、相応の実績を残すことができました。これらにより、売上高は8,236百万円（前年同期比27.2%増）と、第3四半期連結累計期間の売上高としては過去最高を記録することができました。また、販売費及び一般管理費については予算執行の厳格化の徹底を継続することにより前年並みとなり、これに増収効果があったことから、営業利益は815百万円（同127.7%増）、経常利益は823百万円（同119.4%増）、四半期純利益は485百万円（同138.0%増）と、第3四半期連結累計期間でこれまでの実績を大幅に上回る過去最高益を残すことができました。

なお、当社グループではセールスプロモーションの企画及び販売を行なう単一事業分野において営業活動を行なっておりますので、セグメント情報の記載は行なっておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,768百万円（前連結会計年度末4,444百万円）となり、323百万円の増加となりました。主な要因は、仕入債務の支払や法人税等の支払などにより現金及び預金が261百万円の減少となりましたが、売上高が増加したことにより受取手形及び売掛金が674百万円増加したためであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は661百万円（同659百万円）となり、2百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産の減価償却が進んだことから有形固定資産が12百万円、無形固定資産が11百万円それぞれ減少となりましたが、有価証券の取得等に伴って投資有価証券が19百万円増加するとともに、保険積立金が11百万円増加したためであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,969百万円（同2,070百万円）となり、101百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が86百万円減少したことに加え、賞与引当金が35百万円減少したためであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は250百万円（同245百万円）となり、4百万円の増加となりました。主な要因は、退職給付引当金が5百万円増加したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,210百万円(同2,787百万円)となり、423百万円の増加となりました。主な要因は、剰余金の処分による配当を78百万円行いましたが、四半期純利益を485百万円獲得したことによって利益剰余金が406百万円増加したことに加え、自己株式を一部処分したことなどにより自己株式が10百万円減少するとともに、資本剰余金(自己株式処分差益分)が4百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

足もとの業績につきましては好調に推移しておりますが、現時点において平成23年10月11日に公表した連結業績予想について変更はございません。通期の業績見通しにつきましては、判明しだい速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,318,421	2,057,140
受取手形及び売掛金	1,834,126	2,508,634
制作支出金	134,263	94,248
製品	9,172	12,708
原材料	10,593	13,193
繰延税金資産	58,284	40,719
その他	80,763	43,510
貸倒引当金	△1,244	△1,818
流動資産合計	4,444,380	4,768,336
固定資産		
有形固定資産	209,304	197,060
無形固定資産	33,012	21,089
投資その他の資産		
投資有価証券	83,505	103,167
従業員に対する長期貸付金	268	—
繰延税金資産	47,127	47,314
保険積立金	123,992	135,346
敷金及び保証金	121,003	117,115
その他	52,222	51,845
貸倒引当金	△11,119	△11,119
投資その他の資産合計	417,000	443,668
固定資産合計	659,318	661,819
資産合計	5,103,698	5,430,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,601,943	1,515,816
未払法人税等	133,381	220,688
賞与引当金	84,500	49,200
その他	250,988	183,526
流動負債合計	2,070,813	1,969,232
固定負債		
退職給付引当金	81,153	86,897
役員退職慰労引当金	164,005	163,160
固定負債合計	245,158	250,057
負債合計	2,315,971	2,219,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,000	450,000
資本剰余金	201,000	46,171
利益剰余金	2,458,833	2,865,536
自己株式	△158,761	△147,951
株主資本合計	2,792,071	3,213,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,345	△2,890
その他の包括利益累計額合計	△4,345	△2,890
純資産合計	2,787,726	3,210,866
負債純資産合計	5,103,698	5,430,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,474,129	8,236,406
売上原価	4,722,842	6,022,405
売上総利益	1,751,287	2,214,001
販売費及び一般管理費	1,393,252	1,398,874
営業利益	358,035	815,126
営業外収益		
受取利息	3,439	2,291
受取配当金	1,188	1,645
仕入割引	9,382	3,837
その他	4,056	2,415
営業外収益合計	18,067	10,189
営業外費用		
支払利息	229	145
原状回復費用	267	1,134
その他	294	433
営業外費用合計	792	1,714
経常利益	375,310	823,602
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	—
保険解約返戻金	3,055	4,585
特別利益合計	4,055	4,585
特別損失		
賃貸借契約解約損	8,480	1,560
有形固定資産除却損	10,094	629
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	450	—
保険解約損	603	—
特別損失合計	19,628	2,189
税金等調整前四半期純利益	359,737	825,998
法人税、住民税及び事業税	137,714	323,976
法人税等調整額	17,980	16,382
法人税等合計	155,694	340,359
少数株主損益調整前四半期純利益	204,043	485,639
四半期純利益	204,043	485,639

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	204,043	485,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,595	1,454
その他の包括利益合計	△8,595	1,454
四半期包括利益	195,448	487,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,448	487,094
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

当社グループはセールスポモーショングッズの企画・販売を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社グループはセールスポモーショングッズの企画・販売を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

【生産、受注及び販売の状況】

当社グループは、専ら、ノベルティ・プレミアムグッズに代表されるセールスプロモーショングッズを企画・販売する単一事業分野において営業活動を行い、単一セグメントであるため、セグメント別の情報は記載しておりません。

(1) 生産実績

当社グループの販売するセールスプロモーショングッズは広範囲かつ多種多様であり、同様の製品であっても仕様が様ではなく、またポケットティッシュ以外の受注商品の製作につきましては全て外注先に委託しております。なお、当社グループで販売するポケットティッシュについて、その多くを当社の連結子会社である㈱岐阜クリエートにおいて生産しておりますが、当社グループで生産しているポケットティッシュの生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
ポケットティッシュ(千個)	125,251	103.7
合計(千個)	125,251	103.7

(注) 千個未満は切り捨てております。

(2) 仕入実績

当社グループでは価格競争力を強化するため、一部の商品について中国より直接購買を行っております。当第3四半期連結累計期間における、当社グループにおける国内での仕入実績及び中国からの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

地域	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
国内仕入(千円)	5,091,821	130.6
海外(中国)仕入(千円)	525,748	144.3
合計(千円)	5,617,570	131.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における、当社分類による顧客所属産業分野別に販売状況を示すと、次のとおりであります。

分野	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
衣食住・流通産業分野(千円)	5,511,011	134.6
情報・通信産業分野(千円)	1,674,185	121.7
金融・保険産業分野(千円)	318,054	83.4
その他(千円)	733,155	117.5
合計(千円)	8,236,406	127.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。